

将来ビジョン及び必要な取組・事業

提案主体名		特定非営利活動法人アジア・エイジング・ビジネスセンター (AABC)		※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入してください。		
担当者名	所属	理事	問い合わせ電話番号	092-985-7006		
	氏名	清崎 昭紀		e-mail	info@aacbc.in	
提案プロジェクト名		エイジング・オープン・ミュージアム・シティ		※同一主体で複数の提案をする際は別名称としてください。		
対象地域	都道府県名	福岡県		※複数の都道府県にわたる場合は「、」で区切って記入してください。		
	市町村名	福岡市 他		※複数の市町村にわたる場合は「、」で区切って記入してください。 ※特定の地区を想定している場合は、それも合わせて記入してください。		
① 関連する分野	環境 () 超高齢化 (健康・福祉・介護) その他 ()		※国際連携・国際化に関する事項は、分野ではないため、「その他」欄に記載しないでください。			
② 将来ビジョン(環境価値、社会的価値、経済的価値の創造に関する総合的な目標(2050年を見据えた上での2020年、2030年の姿))		※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。				
<p>2050年、日本の高齢化率は40%となり、日本以上のスピードで高齢化が進む韓国もほぼ同様の水準に達する。中国も現在のわが国と同じ20%台となり、約3億人の高齢者を抱える。いずれの国も人口減少が進行する。台湾、シンガポールも高齢化率30%を超え、世界最大の人口国となるインドをはじめ、ほぼすべてのアジア諸国が、高齢化率14%以上の高齢社会となる。【資料1】</p> <p>アジアのいずれの国々においても、高齢化が進展する中での経済発展が国家的課題となる。</p> <p>また、高齢社会を支える重要な人的資源である看護師・介護士の世界的供給国であるフィリピン・インドネシア・ベトナムにおいても高齢化(＝労働力人口の減少)が進むため、こうした人材の獲得競争、及び人材の国際移動が激しくなると予想される。</p> <p>戦後、高度な経済発展を遂げ、世界一の長寿を達成したわが国は、さまざまな問題を抱えながらも経済発展と高齢化対応に関するひとつの成功例を提示したといえる。しかしながら、高齢化の最先端を走る国として、今後、世界にどこにもない解決策を自ら創出しなければならない。人口構造の基本的な変化に伴ってもたらされる超高齢社会への解決策は、一つの技術、一つの施策によってもたらされるものではなく、社会全体のパラダイム変換を必要としており、さまざまな社会実験、新たなシステムの構築、新たなビジネスモデルの創出等、重層的と取り組みによって実現される。</p> <p>このような実験とその成果によって、2020年までに「誰もが暮らしたいまち」「誰もが活力あるまち」を具体的に実現するとともに、アジア諸国及び高齢化が進む他の国々のモデルとなるまちとして、そこに来れば高齢化に関するあらゆることを実際に見て、学び、体験できる都市(エイジングに関するオープン・ミュージアム)として、高齢化対応のエイジング・ジャパン・システムを戦略的に輸出・発信するプラットフォームとする。</p>						
③ 将来ビジョン(②に記載した目標の実現のための取組の基本的な考え方)		※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。				
<p>エイジング・オープンミュージアム・シティを実現し、エイジング・ジャパン・システムをアジアに戦略的に発信・輸出するためには、対内と対外、2つの側面からの展開が必要である。</p> <p>① 対内的展開～モデルとなる都市の実現</p> <p>WHOが提唱するアクティブエイジング(生涯現役)の理念を支える3つの柱に沿って、さまざまな調査研究と社会実験、施策展開、ビジネスモデル構築を行い、エイジングに関する最新のハード・ソフト・システムを装備した「誰もがくらしやすいまち」「だれもが活力あるまち」を具体的に実現する。</p> <p>*アクティブエイジングの3の柱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全－高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるための方策。所得保障、バリアフリー、防災・孤立化対策等におけるコミュニティ対応に関わる。 ・健康－個人の身体的機能の低下を防ぎ、生活の質を向上させるための方策。介護が必要となった場合の方策。主として医療・保健・福祉分野に関わる。 ・社会参加－高齢者が社会の一員として活動できるための方策。雇用などの社会経済活動、文化活動等に関わる。 <p>*自治体レベルにおけるさまざまな課題と解決の方向性については【資料2】参照。きわめて多岐にわたるが、これらの課題解決にあたっては、ソーシャルマーケティングと、クラウド・サービスの活用が共通のキーワードとなる。</p> <p>② 対外的展開～エイジング・ジャパン・システム輸出のための仕組みの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸国の高齢化と経済的発展の進展は、現在の日本と同様の社会経済的ニーズを生むと予想される。【資料3】 そのニーズに対応するエイジング・ジャパン・システムを輸出し、日本が主導的地位を占めるエイジング・マーケットを創出する。 ・そのためには①による取り組みの課程及び成果を集約・分析・体系化し、アジア諸国で活用可能な形へ転換する必要があり、できるだけ早い段階で以下の事業や組織構築を行う。【資料4】 						
④ 将来ビジョンの実現のために5年以内に必要となる具体的な取組・事業(技術・システム、サービス、仕組み等)						
番号	取組・事業の名称 ※異なる名称を付けてください。	取組・事業の概要 ※500文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	取組・事業の期間	実施主体・運営主体 ※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入するとともに、それぞれの役割を()内に記入してください。	価値、分野の種類	国の支援の必要性 ※必要性がある場合、「○」を記入してください。
(1)	高齢化に関するテキスト作成と翻訳	各国の高齢化に関する知識・実践は国内にどとまり、用語・概念の統一化が行われていないため、 ・日本の高齢化に関する基礎用語事典作成 ・日本の高齢化に関する事例集作成(＝エイジング・オープン・ミュージアム・シティのガイドブック) ・上記の英語・中国語・韓国語・タガログ語・インドネシア語版作成 (AABCで、簡易な英語版、韓国語版、中国語版は作成済)	H23-H25	AABC	「社会的価値、健康・社会参加・安全」	○
(2)	ブリッジ人材の養成	日本とアジア諸国双方の高齢化事情が分かり、当該国の事情に応じたジャパン・エイジング・システム導入を先導するリーダーの養成	H23-	AABC、民間	「経済的価値、知識」	○

(3)	介護資格のアジア標準化	EUIにおける介護共通資格(ヨーロッパ・サーティフィケート)をモデルに、アジア共通の介護資格制度の創設(7~8レベルからなり最上位に日本のKAIGO(介護)が位置する)	H23-H25	AABC、民間	「経済的価値、資格」	○
(4)	アジア高齢社会研究センター	・エイジング・オープン・ミュージアム・シティ実現のため、自治体や企業等と連携して各種実験事業の企画・立案・評価・政策提言を行う機関。 ・日本の高齢化対応に関する情報集約・分析・体系化 ・アジア諸国の高齢化状況の調査把握、相手側都市の状況に応じた各種事業の企画・立案・評価・政策提言	H24開設	AABC、研究機関、自治体、国、民間	「社会的価値、健康・社会参加・安全」	○
(5)	介護人材トレーニングセンター	・本場の KAIGOを訓練するための日本センター ・諸外国から訓練生を受入れ、日本を含むアジア各国に供給。 ・AOTS(財団法人海外技術者研修協会)九州支部を新設し併設 ・アジア各地にプランチも創設	H25開設	民間、国	「経済的価値、知識」	○
(6)	技術開発型ナーシングホーム	・最先端の介護技術・介護機器の開発、介護ロボットの実証実験等を行うためのナーシングホームを整備する。 ・安価な料金で実際に入居し生活してもらい、本人の同意のもと、24Hモニタリングを行い、老化の進行状況等学問的な研究や、機器の試用等を行える施設とする。	H25開設	民間、研究機関	「社会的価値、健康」 「経済的価値、知識」	○
(7)	エイジング連合大学院	・アジア各国の大学と連合して、エイジング政策学、エイジング政策立案者養成を行う大学院を創設。 ・対象は国内、国外の自治体の職員、研究者、事業者等。	H26開設	民間・アジア諸国	「経済的価値、知識」	○
(8)	エイジングJETORO	・国内企業がアジア諸国のエイジング・マーケットに進出するための情報提供拠点 ・アジアの高齢化状況・ビジネス慣習・事業展開するための相手先窓口・手続き等紹介 ・進出する関連企業間のコーディネート	H26開設	民間	「経済的価値、情報」	○
(9)	WHOの誘致	・WHOは医療や公衆衛生を主として展開してきた国際的組織であり、高齢化は比較的新しいテーマである。 ・福祉面における課題も視野に入れた高齢化を専門領域とするWHO日本支部の創設を提案誘致する。	H27開設	WHO	「社会的価値、健康・社会参加・安全」	○
(10)						

⑤ ④に記載した技術・システム等をインテグレートして実現するイノベーションの内容 ※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。

・エイジングに対応する各種技術・システム・ビジネス開発
・エイジング・アジア・マーケットの創造